

2019 年度

アメリカ留学報告書

実習先 : セントラルミズーリ大学

実習期間 : 8月22日(木) ~ 12月12日(木)

新潟国際情報大学

国際学部国際文化学科

学籍番号 21018091

長谷川月

目次

1 留学先及び留学期間	3
2 留学先概要	3
3 留学目的	3
4 留学内容	4
4-1 留学スケジュール	4
4-2 留学の詳細	5
5 当初目的・目標への達成度	6
6 反省・課題	6
謝辞	7

付録

留学日誌	7、8
------	-----

1 留学先及び留学期間

留学先 : セントラルミズーリ大学 (University of Central Missouri)

留学期間 : 令和元年 8 月 22 日 (木) ~ 令和元年 12 月 12 日 (木)

※ 帰国は 12 月 13 日 (金)

2 留学先概要

1) 大学について

セントラルミズーリ大学は、ミズーリ州のウォーレンズバーグ市に位置している。ミズーリ州以外からも全米 43 州、世界 57 カ国から 2,000 名以上の留学生が通っており、学生数は 13,000 名に及ぶ総合大学である。大学の近くにはアメリカの航空基地があり、航空学を専攻としパイロットを目指す学生が多くいるのが特徴である。大学内には映画館やジム、ボーリング場、コンサートホール、スターバックスなどのカフェがあり、学生のための娯楽施設が充実している。また、ミズーリ州は比較的静かで治安が良いため生活がしやすく、自然が豊かなところから、大学の敷地内ではリスなどの動物を見る機会が多い。

2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学では、Intensive English Program (IEP) という留学生の為に設けられたプログラムに他国の留学を目的とした学生たちと共に受講した。帰国後クラス分けのテストを受け、割り振られた各クラスでの授業に移った。クラスは 1~9 つに分かれ、Reading、Writing、communication、発音、文法、TOEIC などの英語の基礎的な学習をはじめ、アメリカ文化や日米文化、米国史などの発展的な授業も行われた。

3 留学目的

今回の主な留学目的は語学力の向上や異文化体験を肌で感じる為である。今までしてきた英語の学習はただ聞いたこと、調べたこと、指示されたことをただ黙々と机の上で学習するだけであった。しかし、留学はそれらだけではなく、見たもの、触れたものなど、実際に体験したことを英語学習につなげることが出来る。また、周りで話している言語が全て英語である事や、クラスでの韓国、エクアドル、パキスタンなど他国の学生と英語を用いての討論の機会が多い為、必然的に英語を聞く力を養うことが出来るのも留学を望んだ目的である。またそれらを通して、日本とは違う文化を一つの言語で共有することも今回の留学の目的である。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記述する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日	内容
8	22	到着、入寮
	23	オリエンテーション、クラス分けテスト、 予防接種
	24	ウォーレンズバーグ、ライオンズレイク散策
	26	ウォールマート（スーパー）で生活用品のお買い物
	29	ボーリング、レーザータグ体験
9	5	アメリカンフットボール観戦
	13	Royals メジャーリーグ観戦 ジャズ博物館見学
10	1	ハロウィンパーティ（クラスで仮面パーティ）
	17	ハロウィンパーティ（パンプキンアート）
	18	カンザスシティでショッピング
	31	ハロウィンパーティ（仮装）
11	21	メキシコ料理、映画鑑賞会
	23～	Thanksgiving Day
12	2	Thanksgiving Day
	6	カンザスシティ 美術館鑑賞 ショッピング
	11	Award Ceremony
	12	出国
	13	日本到着

月	火	水	木	金
Reading	Communication	Writing	Grammar	TOEIC
Writing	Grammar	Reading	Communication	American History Or USA Relationship

Pronounce	American Culture	Pronounce	American Culture	
Reading Lab	Communication Lab	Writing Lab	Grammar Lab	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある項目の内容は以下の通りである。

【授業概要】

(1) Reading

文学、論文、小説などを読み、大切なポイントや口頭での要約、読みなどの確認をし、クラスで話し合う。この授業では長文読解力や語彙力を高めることができる。また、授業後に小説の実写映画をみて理解を深めることができる。

(2) Writing

決められたテーマ（特に現代にまつわる問題）の中から一つ選び、自らサイトで調べ、図書館に向き情報収集をしながら論文を書いてく。また、この授業では英語での論文の書き方も深く学んだ。

(3) Communication skill

この授業では、学生同士での討論の機会が多い。授業では毎回テーマが決められており、それに沿って話し合う。また、プレゼンテーションも多く、自分で情報収集をし、後日発表会が開かれる。週に一度ネットニュースの記事を聞き、その内容をまとめてくる宿題が出された。

(4) Grammar

基礎から応用的な文法までをじっくりと学ぶ。授業で確認の為の小テストが度々行われる。最後の試験では、文法の理解度を図るための生徒による授業が学生同士で実施された。最後は教える立場となるので、より深く文法を学べた。

(5) Pronounce

4人組の少人数のクラスに分けられ、個人の発音練習が行われる。少人数の為、担当の先生が生徒をこまめに見てくれるので、苦手な発音を克服できる。

(6) American History

アメリカの歴史について学んだ。

(7) American Culture

アメリカの文化について映像や討論、イベントを通して、見て、話して、学んだ。

(8) USA Relationship

日本とアメリカの歴史的関わりについて討論を通じて学んだ。

(9) TOIEC

毎回の授業で TOIEC のパートごとの要点を学び、その後に実際の過去問を解き形式に慣れる演習をした。最後は本番と同じように時間配分を考えて解く練習をした。

5 当初の目的及び目標への達成度に対する自己評価、派遣によって得られたこと

(1) 語彙力、コミュニケーション能力の向上、異文化理解

クラスの生徒は日本人だけでなく他の国から来た学生もいる為、感情を伝えるにしても、必ず英語を用いなければならない。そのためにも語彙を増やす学習をし、積極的に他国の学生や、先生方と話す機会を作るようにした。それらによって、日本とアメリカの文化の違いを学ぶことができるとともに、留学の終盤には苦手だった会話もスムーズにできるようになった。

(2) 自己管理能力の向上

両親や慣れ親しんだ地元から離れ、言語や文化の違いから、カルチャーショック、ホームシックなど、たとえどんな困難が待ち受けていても一度も訪れたことのないアメリカで1人の人間として自覚を持ち生活することができ、精神面でも成長できた。

6 反省・課題

語学学習を通して、文化の違い理解できたとともに自分自身を成長させることに成功したが、実際の TOIEC の点数がまだ目標に達していなかったため、帰国後も計画的に学習していきたい。また、日米との歴史的関わりについての知識がまだ不十分であったと感じた。よってこれからは単なる英語の学習をするだけでなく、その他アメリカを含め日本や世界に関わる問題にも興味関心を持ち、力を入れていきたい。

謝辞

今回、セントラルミズーリ大学にて親切な指導をしてくださった Jill Thomas さん、Valerie Heming さん、Amber Scroggs さん、Miryan Andaku さん本当にありがとうございました。明るい先生方のお陰でなんでも相談することができ、不安だった初めての海外留学は安心して生活することが出来ました。また、留学をするにあたり、生徒一人ひとりの手配をしてくださった新潟国際情報大学の学務課の職員の方、大学の先生方にも感謝しています。最後に、このような貴重な機会を与え、常に日本から見守ってくれていた両親にも心から感謝しています。

付録 : 研修日誌

9月5日	アメリカンフットボールの観戦
大学内にアメリカンフットボールのスタジアムがあり、地元のひと大学の生徒とともに応援をした。赤い服を着なければならないルールがあったが、そのお陰でチームの統一感が出ていてとても楽しかった。	



9月13日	メジャーリーグ観戦
元から野球観戦が好きだったので、本場のメジャーリーグ観戦できとても興奮した。スタジアムは想像していたよりも遥かに大きく、とても迫力があつた。	



11月22日～27日

Thanksgiving Day

ニューヨークに出向き、買い物やたくさんの観光名所を回った。タイムズスクエアはきらびやかなネオン街でイメージを上回る騒がしさだったが、ニューヨークにある見るもの全てが新しく、小さいころから憧れていた所にたくさん訪れることが出来たので、とても感動した。

